

私立大学研究ブランディング事業  
「エコ農業ブランディングによる発展的地域創成モデルの形成」  
平成 30 年度研究中間報告

課題 7 タマネギ外皮を利用した化粧品の開発

担当者：金沢 和樹

■平成 30 年度の達成目標

ケルセチン組成物の工業的抽出⇒乾物重の 15%以上の含有量を達成

■平成 30 年度の進捗状況（9 月末時点）

タマネギ外皮の洗浄および抽出を工場レベルで行い、乾物中のケルセチン組成物のケルセチン-4'-グルコシドおよびケルセチンの含有量を HPLC 法により測定した。結果、ケルセチン-4'-グルコシドおよびケルセチンはそれぞれ 3.8%、15.5%含まれており、ケルセチン組成物が合計 19.3%含有した化粧品の原料となるタマネギ外皮抽出物を開発することができた。これにより、今年度の達成目標である 15%以上の原料作製は達成した。来年度以降計画通り、この高純度のケルセチン組成物含有原料を使った化粧品の開発を行う予定である。